

巻頭 2040年代のベイエリアのイメージ

※官民連携チームの提案の視点も反映

ビジネス、滞在、エンターテイメントなど、2040年代のベイエリアの様々なシーンを紹介

第1章 ベイエリアビジョンの目的

次世代のまちづくりのモデルとなるベイエリアの将来像を示し、成長戦略につなげていくための、総合的なビジョン。「都市づくりのグランドデザイン」を踏まえ、2040年代のベイエリアの目指すべき将来像とその実現に向けた具体的な戦略、取組を示すもの

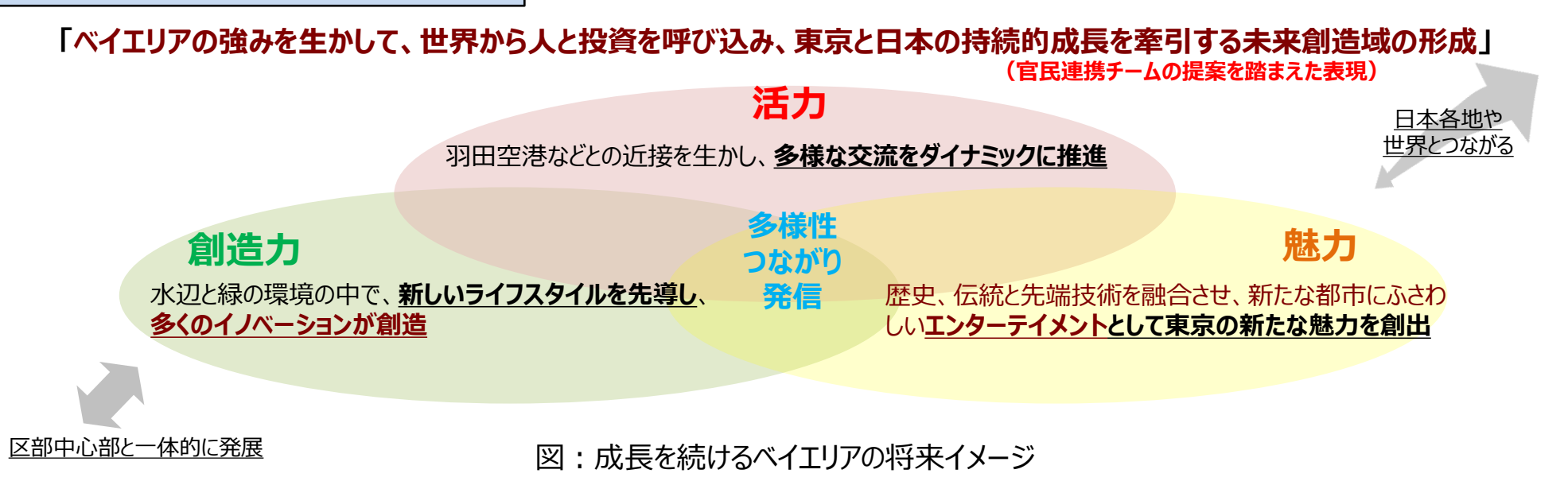
第2章 ベイエリアの現状と強み

- (1) ベイエリアの現状
  - ・「都市づくりのグランドデザイン」において、国際ビジネス交流ゾーンの一部として設定
  - ・伝統的な下町文化や食文化の拠点を有するとともに、複合MICE、大学・医療・産業・研究拠点が点在
  - ・港湾機能の沖合展開や道路・公共交通が整備され、区部中心部と一定程度のつながり
- (2) ベイエリアの強みとその活用の方向性
  - (強み) ・**区部中心部との近接性** ・**国内外の玄関口**（羽田空港、東京港）
  - ・**豊かな水辺（海）、みどり、オープンスペース** ・**2020大会のレガシーの集積** ・**個性ある多様な拠点**
  - (その活用の方向性)
    - ・それぞれの強みの特性を最大限活かしながら、個性ある拠点を有機的に結び付けるとともに、区部中心部と臨海部のより**緊密な連携強化**

第3章 2040年代の社会状況と技術革新の見込み

東京の人口予測、社会状況(ライフ・ワークバランス、インバウンドの更なる増加等)の見込み、技術革新(AI、自動運転等)の見込み

第4章 目指すべきベイエリアの将来像



第5章 将来像の実現に向けた戦略と取組

- (1) 将来像の実現に向けた5つの戦略
  - 戦略1 **魅力的で多様な拠点の個性を磨く**
  - 戦略2 **国内外との人とモノの交流を促進する都市基盤の充実・強化**
  - 戦略3 **水辺と緑を生かした、魅力と楽しさあふれる空間整備**
  - 戦略4 **新たなライフスタイルに対応しながら先進的な産業、技術、人材の交流の場を充実し、新たな価値を創出**
  - 戦略5 **災害リスクと環境問題に先導的に取り組むサステナブル都市モデルを発信**
- (2) 5つの戦略に沿った具体的な取組  
5つの戦略に沿って、将来像の実現に向けた具体的な取組を提示

第6章 個別エリアや地域の将来像

ベイエリア全体の将来像を実現するための、戦略と取組を行った結果の将来像を描く

第7章 将来像の実現に向けたロードマップ

各年代における政策展開を記載

巻末 官民連携チームからの提案

※茶文字：官民連携チームにおいても同様の視点あり